

クラブ出席		12月 個人出席									イベント出席	
在籍（1名功労・広義会員）	16名	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2	ゲスト:内河恵一、西尾結花、石橋まり子、 吉田光代、加藤誠、荒川文門、杉山弘時、 小林滋記、近藤豊、瀬川景子、ゆり先生、 ナッツ 特別メネット：長井衣世 メネット：加藤朱美、戸田寛恵 コメット：相馬朋子 ミカン狩り：平野実郎、谷川修、加藤明 宏、川本龍資、都築正和、渡辺真悟 クリスマスキャロル：小尾雅彦、加藤明 宏、中村隆、平野実郎、平野コメット	
第1例会	12名											
メネット	4名	小 尾			谷 川	○	R	平 野				
ゲスト・ビジター	12名	加 藤	○		都 築	○		深 谷	○			
第2例会	7名	川 口			戸 田	○	R	山 川	○			
メネット	0名	川 本	○	R	中 井	○	R	渡 辺	○	R		
ゲスト・ビジター	0名	塩 田	○		中 村	○						
メーキャップ	1名	相 馬	○	R	西 村	M	R					
出席率	87%	○出席 Rリモート出席 Mメーキャップ										

■ ■ ■ 第一例会レポート ■ ■ ■

と き：2025年12月13日(土) 5:30p.m.～8:15p.m.

ところ：名古屋ガーデンパレス 5階及び2階

第一部の礼拝はホテルのチャペルで 荒川文門ハーベストクラブ会長の教え子で西尾結花さんと石橋まりこさんお二人のバイオリニストによる讃美歌など 厳かな雰囲気で心静かに神の賛美を迎えることができました。バイオリンの讃美歌大変良いですね。

第二部の祝会アトラクションでもお二人の演奏はとても清々しくお上手で 讃美歌・クリスマスソング・ワイズソング・YMCAの歌等自然に口ずさむ事が出来、食事も大変美味しく過ごすことが出来ました。

小生に取ってもう一つ思い出深い出来事は 故吉田氏(通称まんじゅう)のメネットとの何十年ぶりの再会でした。一年先輩の「まんじゅう」とは旧少年部メンバー、リーダー、大学、南山ワイズを通じて常に一緒に行動



し 大学時代は「学Y」を作ることも考えていた仲でした。天に召されてしまいました。が南山のご自宅・弥富ヶ丘のマンションでの語らいを懐かしく思い出され 私にとって良いクリスマスプレゼントになりました。

クリスマス月間の煌びやかなイルミネーションの栄は、田舎暮らしの小生にとっては眩く清々しい思いで帰路に着きました。今回の例会を企画してくれた担当者に敬意を表すると共に 次年度がメンバーにとって素晴らしい年であることを祈念し レポートとします。メリークリスマス！ (都築正和)



■ ■ ■ 第2例会レポート ■ ■ ■

と き：2025年12月15日(月) 19:00～20:00

ところ：オンラインにて

○1月以降の例会 内容

1月例会 1月24日(土) 18:00～(予定)

※新年合同例会(名古屋クラブ1月第1例会と位置付ける。)

場所：ルプラ王山を予約済

内容：アトラクションは、卓話になる見込み。

※詳細については後日配信予定の要項による(担当：名古屋グランパスクラブ)

2月例会 2月10日(火) 19:00～

※TOF例会 卓話者 国際飢餓対策機構 佐味健志氏

担当：川本(他ワイズ・Y職員への呼びかけ案内)

TOF例会案内作成予定

3月例会 3月10日(火) 19:00～

卓話者：三枝 隆氏(名古屋YMCAスタッフ：スズカト担当)

演 題：「導かれて・・・スズカトにて」

担 当：中井

2026年4月以降(候補)

- 牧野和博さん 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事
- DVD鑑賞 「希望の灯を灯す」故 中村 哲さんの記録(西村ワイズ提案)

○CS事業(みかん狩り)、クリスマス例会の評価・反省

プリテン1月号に掲載する

○その他

- 次期中部部会について 2026年10月31日(土)於)スズカト を予定している。
- ドバイ国際大会(会長・メール委員宛に案内が来ています。)次月例会にてアナウンスする

ハッピーバースデー

メン	西村 清	平野 実郎
メネット	中村 正子	深谷 俊子

名古屋 YMCA チャリティーゴルフ報告

今年も名古屋 YMCA のチャリティーゴルフ会に参加しました。

11月13日(木) 鈴鹿カンツリークラブを会場に総勢83名の大コンペとなりました。薄曇りの天候に恵まれ風も少なく、言い訳できないコンディションでのプレーでしたが、スコアはいつも通り「イマイチ!」しかしながらハンデに恵まれ、まずまずの結果を残すことが出来ました。自分の成績はさておき、参加者全員が無事完走、盛況の内に終了でき、チャリティーも名古屋 YMCA に贈呈することが出来ました。学

童キャンプ・日本語学院の留学生・東日本大震災の支援のため有効に活用することを願います。

遠くは仙台から、大阪・京都・滋賀からも名古屋 Y 応援団が駆けつけてくださり、全国に仲間がいる! 毎年、ワイズの友情を実感できるプログラムは幸いです。「名古屋青年」に同封されたチラシを見つけ、始めてご参加くださった維持会員の方と久しぶりの再会が出来たことも感謝でした。出会いを大切に、今後につなげていきたいと思います。

(川本龍資)

地域奉仕(CS)事業：ミカン狩り招待プログラム報告

今年は、2年ぶりに養護施設の子ども達を招待してのミカン狩りを11月29日(土)に実施できました。常滑のミカン果樹園の地主さんのご協力で2本の木に鈴なりとなったミカンすべてを食べて取り切るプログラムです。中央有鄰学院の4歳から17歳の子ども15名と職員5名、聖園天使園が子ども4名と職員1名が招待に応じて下さいました。取っでは食べ、段ボール箱数箱にいっぱいを持ち帰りです。ミカン狩り終了後は、まだ、昼食の用意ができていない時間を使って 川本ワイズの主導でクイズラリー、ゲームの達人加藤会長のリードで手遊びゲームを楽しみ、お腹も空いたところで、さあ、昼食です。今年のメニューは、豚汁にカルピ井です。根菜がまだ十分に柔らかくなっていないで大丈夫かな! ? の心配をよそに、お代わり一杯で、手づくりの不手際をカバー



してくれた子ども達でした。快晴で穏やかな気候のもと、屋外での食事の良さは格別です。

子どもらを迎える我がワイズは、加藤会長、川本ワイズの他に渡辺、都築ワイズと私、谷川の5人(深谷ワイズは急きょ仕事が入り欠席)でしたが、チームワークもバッチリで招待の子ども、職員も大満足で帰っていかれました。そうそう、都築ワイズは娘さんと4歳のお孫さんと参加、みかんをいっぱい美味しそうに食べていたのが印象的でした。

地域奉仕という事で思い出したのが、故鈴木ワイズ(元総主事)の社会館保育園でのご挨拶です。「保育に預らせて頂く、子育ての応援をさせて頂く」と述べられていました。その謙虚さこそが、キリストの教えであり、YMCA の精神と感じ入ったことでした。これからも、その姿勢で地域奉仕をすすめていこうとの思いを強くしました。(谷川 修)



会計より
会費納入
のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるようお願いします。(3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい) **ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ**



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」

(ヨハネによる福音書 1 : 1 ~ 3)

西 村 清

2026 年、明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり、と言われるように、正月には一年のすばらしい目標を定め、希望に満ちた計画を立て、元気に新しい歩みを始められたでしょうか。

私は昨年 11 月末に骨粗しょう症から背骨の骨折が起こったようで、痛み止めの薬をもらっていますが、体を動かすと一日に何度も痛みが走ります。特に朝起きる時が大変で、少しずつ、少しずつ体を動かし、痛みを我慢し、20 ~ 30 分かけて起き上がります。人間が四足歩行から二足歩行へと進歩したことは大変なことだったと、今さらのように感心しています。

人間にはこれに劣らず、大きな進歩が「ことば」の創造です。言葉のない人間の世界はどんな世界か、想像も出来ない気がします。そして言葉の意味を考える時、大きな広がりをもつことになります。今月の聖句のように、ヨハネは「初めに言葉があった」と述べます。この言葉は λόγος (ロゴス) というギリシャ語が使われています。し

かも日本語の聖書では「言葉」ではなく、「言」と表現されています。ギリシャ語ではこの λόγος は「理性」という意味も持っているからです。しかしヨハネはあえて、この λόγος に神の子、イエスを意味する言葉として用いたのです。パークレーという神学者は、「イエスは、神の創造的な生命と光を与える言葉(旧約聖書・創世記 1 章参照)に他ならず、またイエスは、世界を創造した神の力であり、人間の肉体の形をとって地上に來られた、世界を保持する神の理性である」とヨハネの偉大な思想を紹介しています。

何故なら、ヨハネの課題はキリスト教をユダヤ人の世界に伝えることではなく、ギリシャ世界に伝えることであつたのです。確かにキリスト教はユダヤ教の内部で、その幼年期を過ごしたとしても、まもなくそれはより広い世界へと広がり、ローマ世界に達した紀元 60 年頃には、ユダヤ人一名に対して、ギリシャ人一万人のキリスト者が教会内にいたと言われています。

「ことば」を深い意味でとらえたいものです。

.....

YMCA ニュース

スキーキャンプ

年末から 3 月末にかけて、スキーキャンプのシーズンを迎えました。12/26 ~ 29 は白馬、12/26 ~ 28 は柵池、1/10 ~ 12 は白馬、1/17 は木曽福島、1/24 ~ 25 はやぶはら高原、2/7 ~ 8 および 2/14 ~ 15 は白樺高原、3/26 ~ 29 は志賀高原にて実施されます。

今年は厳しい寒さが続いており、積雪については大きな心配はなさそうです。年末の白馬と柵池のキャンプはすでにほぼ定員に達しており、リーダー・スタッフも本番に向けて準備に励んでいます。一方で毎年この時期になると思われるのが、地球温暖化の影響です。「年末や 3 月末のスキーキャンプは、この先いつまで続けることができるの

だろうか」と考えさせられます。脱炭素エネルギーへの転換や温室効果ガス削減など、さまざまな取り組みが進められていますが、まだ十分とは言えない状況です。世界全体で排出される二酸化炭素は、年間約 338 億トンにのぼり、日本はその約 2.9%にあたる約 9.8 億トンを排出し、世界第 5 位となっています。「四季から二季になりつつある」と言われる現象も、もはや体感だけの話ではなくなっています。安全が守られ、楽しいスキーキャンプが実施されることはもちろんですが、自然条件に大きく左右されるキャンプだからこそ、地球温暖化について考える機会ともなるキャンプであってほしいと願っています。(中井信幸)